テクノロジーの進化は世の中の常識を覆し、産業構造やビジネス現場を変え続けている。中でも、特にテクノロジーとビジネスの結びつきが強いのが金融業界だ。最近では「FinTech（Financial Technology）」が注目を集めるなど、金融ビジネスにイノベーションをもたらすテクノロジーへの期待はますます高まっている。高度なテクノロジーを有し、金融業界に特化したITソリューション・サービスを提供するシンプレクス株式会社にて、FX（外国為替証拠金取引）ソリューションの責任者を務める三浦和夫氏に、テクノロジーが金融ビジネスに及ぼす影響や重要性について話を聞いた。

×テクノロジーの進化が、金融ビジネスを変革する

三浦和夫（みうら・かずお）
シンプレクス株式会社
リテールソリューション・ディーリング戦略グループ アソシエイトプリンシパル
神戸大学大学院 工学研究科 情報知能学専攻 修了

テクノロジーと金融ビジネスは、密接に結びついている

01

金融業界の発展はテクノロジーの進化と共に創られてきたと言っても過言ではありません。大学・大学院で情報知能工学を専攻していた私が就職活動で金融業界に興味を持った理由は、「テクノロジーがビジネスに与える影響度の大きさ」にありました。

ある外資系証券会社で「テクノロジーの追究がビジネス（収益）に直結する」という話を聞き、「金融×テクノロジー」領域への興味関心が高まりました。また、別の外資系証券会社のインターンシップでは、秒単位でしのぎを削るトレーディング現場でトレーダーのデスクに付いて、トレーダーの要望をシステムに即時反映させ収益を生み出していく仕事を経験しました。金融ビジネスにおいてテクノロジーが必要とされ、目に見える形で役に立っていることを体感し、非常に魅力的な仕事だと感じました。

金融業界は収益を生み出すために1980年代頃から積極的にテクノロジーを取り入れ、1990年代にはコンピューターによるプログラム売買を行っていました。さらに2000年代に入って情報処理技術が格段に向上したことにより、ミリ秒・マイクロ秒・ナノ秒といった高速かつ大量の取引が可能となったのは、まさにテクノロジーの成果と言えます。そして近年は、金融工学を駆使したシステムにより市場動向を瞬時に見極めながら、自動的に売買を執行するアルゴリズム・トレーディングが主流となっていきました。

最近ではディープラーニング等の人工知能技術を金融ビジネスに活用する動きも出てきており、最先端テクノロジーが金融ビジネスに与える影響から今後も目が離せません。

FX市場の発展に、テクノロジーが与えた影響 02

次に、私が携わるFXソリューションを事例にテクノロジーが金融ビジネスの課題解決に貢献した話をします。

FXは金融業界のなかでも比較的歴史が浅く、日本では1998年の金融ビッグバンにより個人でも取引が可能となったことに端を発しています。2000年代はじめ、FXビジネスの黎明期〜成長期は、FX事業者が高い手数料を設定しても、ユーザー数が増え続けていました。そのため、各社は一刻も早くFX取引サービスをスタートすることに注力し、高度なテクノロジーよりも、システム構築の迅速性が求められていました。

しかしその後、FX市場の成長が踊り場に入ると、「いかに手数料を下げてユーザーを獲得するか」「手数料を下げつつ、いかに収益を向上させるか」が各社の経営課題となりました。収益を最大化させるためには、的確な通貨のプライシングや最良なタイミングでの執行判断が必要となり、テクノロジーの力がより強く求められるようになったのです。

当社ではFXパッケージを見直し、先端テクノロジーを備えた「Simplex FX」を開発。独自開発の高速金融取引プラットフォーム技術や、先進的なアルゴリズム・トレーディング基盤を備え、収益最大化のサポートを実現したのです。アルゴリズム・トレーディングがFXでも導入され取引の自動化が進むことで、FX事業者の業務効率化にもつながりました。それまで定型業務にかけていた人的リソースを、マーケティングや収益向上のためのコア戦略立案に投入できるようになったのです。

金融×テクノロジー

最近では、人工知能を活用したロボアドバイザーや、仮想通貨ビットコインの根幹技術であるブロックチェーンといった「FinTech」が注目を集めています。私も興味を持って情報をチェックしていますが、現時点では世の中を大きく変革するサービスが生まれていない（当社も生み出せていない）という印象です。

ひとつ言えることは、テクノロジーと金融ビジネスの融合により、「金融」そのものが身近な存在になっているということです。例えば、人工知能の活用により、投資家のプロファイルに合わせ、コンピューターが自動で資産運用を行えるようになりました。「投資は専門知識が必要で難しそうだ」と思われていたことが、テクノロジーの力により一般化し始めていることは間違いありません。

私は、「金融×テクノロジー」領域は大きな変革期を迎えていると考えています。新たなテクノロジーをどのような形で金融ビジネスに応用し、イノベーションを仕掛けていけるか、考えるだけでワクワクします。当然、当社でも今後、新たなサービスを世に発信していく予定です。「金融×テクノロジー」領域は、自分の技術や思考・アイデアがクライアントのビジネスに大きく反映されます。「深く考え抜いた上で行動する→振り返る→さらに深く考える」というサイクルを経験している理系学生にとっては、刺激的で面白い仕事だと思います。これまでに培った経験や思考力を、是非「金融×テクノロジー」領域で発揮してください。

金融×テクノロジーの未来と、そこに携わる魅力 03